

Wi-Fi ルーター MD1

取扱説明書

車への取り付けは、必ずこの取扱説明書の「安全上のご注意」に従って正しく行ってください。指定以外の取り付け方法や指定以外の部品を使用すると、事故やけがの原因となる場合があります。この場合は、弊社では一切の責任を負いかねます。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いません。

Cloud SIM 機能内蔵

Cloud SIM リチャージの申し込みについて

初回のデータ容量を消費してしまった場合は、以降リチャージの申し込みをお願いします。

- Cloud SIM のリチャージの申し込みはこちら→



https://md1-maya-portal.harmony-system.com

※Cloud SIM の利用期間は最初に通信を始めた時から、初回のデータ容量の利用期間がスタートします。
※現在使用しているデータ容量がなくなるか、利用期間が過ぎてから、リチャージされた通信容量が使用されます。

安全上のご注意

（安全にお使いいただくために必ずお守りください）あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

危険	「人が死亡または重傷を負う可能性が差し迫って生じることが想定される内容」です。
警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。
注意	「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が規定される内容」です。

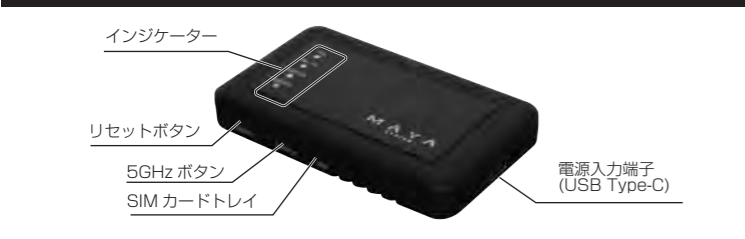
■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

注意 （警告を含む）しなければならぬ内容です。	強制 必ず行っていただく強制の内容です。
禁止 （やってはいけないこと）の内容です。	

付属品を確認する

Wi-Fi ルーター本体	電源ケーブル	両面テープ付き面ファスナー
SIM トレイ用リセットピン	取扱説明書（本誌）	保証書
	QRコードシール	

各部の名称



インジケータカラー	点灯	点滅
4G	青	ネットワーク接続
Wi-Fi	青 / 赤	ネットワーク接続できない
STATUS	赤	5G+2.4G 帯(紫) / 2.4G 帯(赤)
		Wi-Fi 通信中
		本体電源 ON
REMAIN	緑	データ残量 1GB 未満
		データ残量 1GB 以上
		リチャージした場合も、使用しているデータ残量がなくなるまでは、現在使用しているデータ残量が表示されます。

接続・取り付け
警告
禁止
<p>取り付けやアース配線に、保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを使用しない。制御不能や発火、交通事故の原因となります。</p> <p>電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない。電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。</p> <p>視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危を及ぼす場所には取り付けない。交通事故やケガの原因となります。</p> <p>説明書に従って接続・取り付ける。説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。コード類は運転操作を妨げないように引き出し固定する。ステアリングやシフトバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと、事故の原因となります。</p> <p>付属の部品を使用し、固定する。付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げになり、事故やケガの原因となります。</p> <p>取り付けと配線が終わったら、車の電装品が正常に動作するか確認する。正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。</p> <p>車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する。断線やショードにより、火災や感電、故障の原因となります。</p> <p>取り付け場所の汚れ（ごみ、ほこり、油）などを取り除き、しっかりと取り付ける。走行中に外れ、交通事故やケガの原因となります。乗車時に取り付け状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。</p>

注意
禁止
強制
<p>ヒーターの吹き出し口の近くに設置しない。製品の通風口、放熱板を塞ぐ場所には設置しない。熱風が直接当たったり、放熱が不十分となり、内部温度が上昇し、火災や事故の原因となります。</p> <p>直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない。内部温度が上昇し、火災や故障の原因となります。</p> <p>本機を不安定なところに取り付けない。落下などによる事故やケガ、故障の原因となります。</p> <p>USB ケーブルを確実に挿入する。挿入が不十分だと火災、感電の原因となります。</p> <p>USB ケーブルは定期的に清掃と点検を行う。USB ケーブルの中に異物が入っていると火災、感電の原因となります。</p>

使用方法
警告
禁止
強制
<p>運転者は走行中に操作をしない。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。</p> <p>液体で濡らさない。発煙、発火、感電の原因となります。</p> <p>本機のカードスロットカバーに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れない。火災・やけど・けが・感電などの原因となります。</p> <p>高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機を使用しない。電子機器が誤作動するなどの影響を及ぼす場合があります。※ご注意ください。電子機器の例：補聴器・理め込み型心臓ペースメーカー・その他の医用電気機器・その他の自動制御機器など</p> <p>分解や改造をしない。交通事故や火災、感電の原因となります。</p> <p>使用後または長時間使用しない場合は USB 電源を抜く。車種によってエンジンが切っても USB 電源が切れない場合があります。火災やバッテリー上がりの原因となります。</p>
注意
禁止
強制
<p>本機の上に重いものを乗せたり、乗ったりしない。落下させると、たたくなど、強い衝撃を与えない。故障や火災の原因となります。</p> <p>USB コネクタを濡らしたり汚したりしない。火災、感電の原因となります。濡れたり、汚れたりしたときは、きれいに拭き取ってください。</p> <p>温度の上昇に注意する。本機は、環境や使用状況によって温度が上昇する場合があります。ケガや事故の原因となることがありますので、ご注意ください。</p>

取り付け前に・・

警告	<ul style="list-style-type: none">エアバッグ装着車に取り付ける場合は、エアバッグのカバー部分および作動時の妨げになるような場所には絶対に取り付けないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やけがの原因となります。 エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となります。 必ず付属品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。 必ず車両の備品および運転に支障のでない場所に本機を取り付けてください。
注意	<p>両面テープは、一度貼り付けた後に剥がすと粘着力が弱くなるため貼り直してできません。必ず本体を仮留めし、ケーブルの引き直しなどを十分に検討してから貼り付けてください。</p>

取り付けのポイント

取り付け、固定する前に

●まず、仮取り付けと仮接続を行い、本機が正常に起動することを確認してから取り付けてください。正常に起動しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

両面テープを貼り付ける前に

●両面テープを貼り付けるところは、汚れをよく拭きとってください。

異常時の問い合わせ
注意
強制
<p>万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する。そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。</p>
使用方法
SIMカード
注意
禁止
<p>SIM カードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えない。故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。</p> <p>IMEI 制限（IMEI ロック）された SIM カードはご利用になれません。</p>

お願いとご注意

■ご利用にあたって

本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れたりすることがありますので、あらかじめご了承ください。

●本機に貼ってあるラベルは、法的認証を証明するものですので、ラベルは剥がさないでください。また、汚したり、消したりしないでください。

●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損失を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださいようお願いいたします。
・誤った使い方をしたとき
・静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・故障したり、修理に出したとき

●爆発物を取り扱う場所、その周辺では本端末を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。

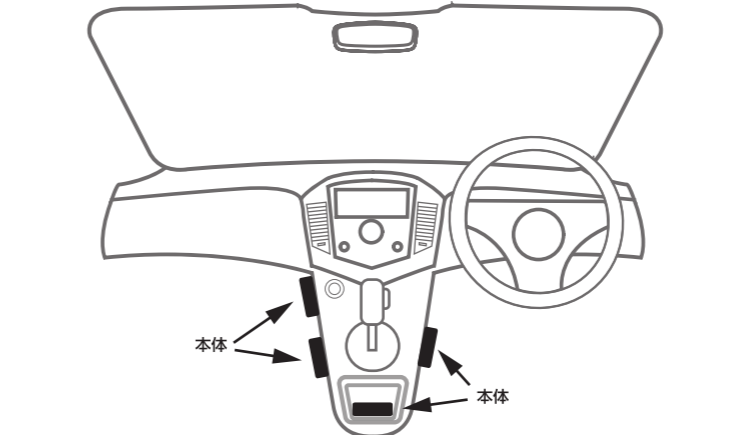
比吸収率（SAR）について

この機種「MD1」は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。本機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本機に対する SAR の許容値は 2.0W/Kg です。取扱説明書に記述する通常使用の場合、本機の SAR の最大値 1.833W/Kg です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。本機は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、本機の出力は小さくなります。通信中は、身体から 2cm 以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで 20 年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、世界保健機関のホームページをご参照ください。http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。総務省のホームページ：http://www.tele.soumu.go.jp/1/sys/ele/index.htm 一般社団法人電波産業会のホームページ：http://www.arib-emf.org/index02.html

本体の取り付けと接続

注意	取り付け上のご注意
<ul style="list-style-type: none">湿気の多いときは、取り付け面を乾燥させてから作業を行ってください。 取り付け面に水気があると接着力が低下してはがれる恐れがあります。 取り付け部の接着が弱いと、走行中にはがれて事故の原因になります。 取り付けた後に両面テープをはがした場合は、市販の両面テープでしっかりと貼り直してください。 作業場所は、空気中にゴミ、ほこりなどが無い場所を選んでください。 ダッシュボードの上には取り付けないでください。 コード類は、運転操作の妨げにならないようかつ乳幼児の手の届かないところに引き直し、テープなどで固定してください。 エアコンの噴出し口の周辺には取り付けないでください。 可動部には取り付けないでください。 車室外には取り付けないでください。 ステアリング下部への取り付けは推奨しません。 インジケータが確認できる位置に取り付けてください。 通信中は、身体から 2cm 以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。	

取り付け例



使用上の注意

▲ 本機取り扱いに関するご注意

●運転者は走行中に操作しないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

●60℃以上の高温または-10℃以下の低温、および湿度の高い場所では本機を使用しないでください。

●必ず付属の USB 電源ケーブルを使用してください。

●本製品は 2A 程度の電流を消費しますので、2A 以上の給電能力のある USB 端子に接続してください。

▲ 電波に関するご注意

●本機は電波法に基づく省電力データシステム 無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用する際には無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。

217-231078
D230038217

●下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
・分解 / 改造する。
・本機に貼ってある証明シールを剥がす。

●本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているので、電波の干渉により無線機能の接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波干渉の影響をうけにくい方式ですが下記の内容に注意してください。
・無線 LAN を利用した AV 機器、防犯機器などを使用してる環境で、本機の無線機能を使うと、接続が途切れたり、無線 LAN 機器の動作に影響を与えることがあります。

●その他、下記の機器でも、2.4GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピュータなど）
・工場や倉庫などの物流管理システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
・マイクログ波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
・自動ドア、方引き防止システム（書店、CD ショップなど）
・自動制御機器・その他、Bluetooth® 対応機器や VICS（道路交通網システム）
・アマチュア無線局など

①	②
③	
① 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。	
② DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。	
③ 想定される与干渉距離（約 20m）を表します。	
	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

※5GHz の周波数帯の電波は屋外や車内での使用は、電波法で禁止されております。5GHz の周波数帯の使用は室内のみで使用してください。

本体の取り付けと接続

1	本体を取り付ける 本体底面に両面テープ付き面ファスナーを貼り固定面に貼り付けます。	
2	付属の USB 電源ケーブルを接続する	
3	車両側の USB 接続端子へ接続する 車両側の USB 接続端子へ電源ケーブルを差し込みます。USB 接続端子がない場合は、別途 USB 電源をご用意ください。	
4	起動確認する 取り付けと接続が終わったら、本機が正常に起動することを確認してください。本機は、車のエンジンを ON(ACC ON) にすると起動し、起動中は本機の STATUS インジケータが赤く点灯。起動が完了すると、本機の Wi-Fi インジケータが赤または紫に点灯します。電源ボタンはありません。	

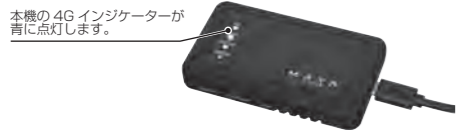
Cloud SIM によるネットワークの接続方法

USB 電源ケーブルを挿入して、電源を入れる。



ケーブルを挿す

本機が自動的に最適な 4G ネットワーク接続を検索して接続します。4G LED が点灯したら、接続できる状態になります。



本機の 4G インジケータが青に点灯します。

※工場出荷時は Cloud SIM が選択されています。SIM カード管理画面で、Cloud SIM 以外を選択している場合は、Cloud SIM を選択し直してください。

Wi-Fi ネットワークに接続する

スマートフォンなどの Wi-Fi 対応端末を本機の Wi-Fi ネットワークに接続する

本機の Wi-Fi インジケータが赤または紫に点灯します。スマートフォンの設定画面のネットワークの設定等で MD1-XXXX(本機の IMEI2 の下 4 桁) を選択し、本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続する。

接続時の初期パスワードは「1234567890」です。
*このネットワークはインターネット接続していません。接続を維持しますか? と聞かれた場合には「はい」を選択する。



SSID

初期パスワード
1234567890

SSID/パスワードの変更とリセット

SSID/パスワードの変更

Wi-Fi 接続時に使用する SSID、パスワードは本書に記載されています。この情報を第三者に見られて、不正アクセスされる可能性がある場合は、SSID、パスワードを変更してください。

- 1 設定 Web 画面の表示
パスワードの入力
- 2 Wi-Fi 設定画面の表示

Android、iPhone や Wi-Fi 対応端末で Web ブラウザを起動し、アドレス入力欄に「192.168.225.1」と入力する。
※入力したアドレスをブラウザに登録しておくと同以降スムーズに設定 Web 画面が呼び出せます。



初期ログイン
パスワードは
「12345678」です。

言語設定
日本語
English
中国語



Wi-Fi 設定を
タップする

- 3 SSID/パスワードの変更

SSID とパスワードを入力して「✓」をタップする。確認画面が表示されたら確認を押すと設定が反映されます。設定が反映されると Wi-Fi 接続が切断されます。再度接続してください。
使用できる文字は半角アルファベットの英文字小文字と数字です。



変更後名称

Wi-Fi 名称: MD1No1

パスワード:

SSID/パスワードの変更とリセット

パスワードのリセット

※パスワードを忘れた場合
本機のリセットボタンを 7 秒以上長押しすると、設定がすべてクリアされて、工場出荷状態に戻ります。
SSID とパスワードも初期設定に戻ります。手動で設定した APN 情報もクリアされますのでご注意ください。



リセットボタン

SIM カードを入れる

※Cloud SIM 機能をご利用の場合は SIM カードを挿入する必要はありません。
●SIM カードを入れる前に各種機能の設定の SIM カード管理画面で nanoSIM カードを選択してください。
●電源ケーブルを抜いて、電源を切っておきます。
次に本機の SIM スロットに開通済みの SIM カードを下記の画像の様に挿入します。



1 SIM カードトレイを付属のピンでトレイ引き出し用の穴に挿入します。

2 ピンを穴に挿して押し込むと、SIM カードトレイが引き出されます。

3 SIM カードトレイに SIM カードを図の様に挿せて、本機へ挿入します。

APN 設定

通信業者の接続先の設定

本機は初期登録されている通信事業者の接続先には自動で接続します。自動で接続されない場合には、手動で設定を行います。下記手順はスマートフォンのブラウザでの設定例です。

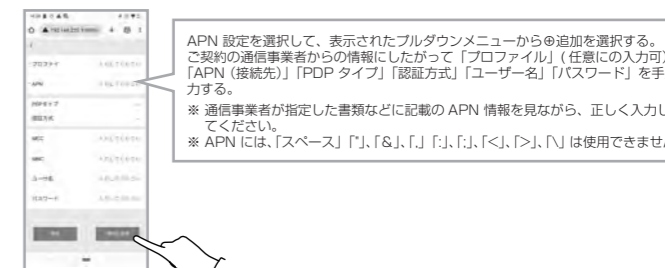
- 1 設定 Web 画面を立ち上げる
※設定画面の立ち上げは「SSID とパスワード変更方法」の 1 を参照してください。
- 2 接続先の設定
APN 設定メニュー表示



システム設定を
タップする

APN 設定を選択して、
表示されたプルダウン
メニューからの追加を
選択する。

- 3 APN 設定



APN 設定を選択して、表示されたプルダウンメニューから追加を選択する。
ご契約の通信事業者からの情報に当たって「プロファイル」(任意の入力可)
[APN (接続先)] [PDP タイプ] [認証方式] [ユーザー名] [パスワード] を手入力する。
※ 通信事業者が指定した書類などに記載の APN 情報を見ながら、正しく入力してください。
※ APN には、「スペース」「&」「|」「:」「<」「>」は使用できません。

入力が完了したら、保存と適応を選択する。

APN 設定

- 4 ブラウザをリロードしてください。
保存した APN 設定を選択する。



APN 設定をする。
表示されたプルダウン
メニューから追加した
プロファイル名を追加
を選択する。

保存と適応を選択する。

- 5 再起動を選択する



再起動を選択する。

本機の 4GLED が点灯すれば接続成功です。LED が点灯しない場合は APN 設定を見直してください。
一度本機とスマートフォンの接続が切れますので、再度本機とスマートフォンを接続してください。

各種機能の説明

TOP 画面	Wi-Fi 設定画面	システム設定画面	パスワード設定画面	SIM カード管理画面
<ol style="list-style-type: none"> 1 接続している通信回線名 2 Wi-Fi 接続している機器数 (1-10) 3 4G の受信状態 (1-4) 4 言語設定 日本語 / English / 中国語 5 Cloud SIM の通信データ残量 (追加でリチャージしている場合も使用しているデータがなくなるまでは現在使用している通信データ残量が表示されます。) 6 通信状態表示 7 Wi-Fi 設定画面へ 8 システム設定画面へ 9 SIM カード管理画面へ 10 ログアウトしてログイン画面に戻ります。 11 パスワード設定画面へ 12 リチャージサイト (Harmony System) に遷移します。 13 本機 IMEI コード リチャージするときに必要な番号です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 Wi-Fi OFF スイッチ OFF にすると本器で出荷時リセットをしないと ON に戻りません。 2 5G Wi-Fi ON-OFF スイッチ 5G Wi-Fi は屋内での使用のみ法律で許可されています。屋外や社内で使用する場合は、OFF にして使用してください。 3 SSID、パスワード入力 4 SSID、パスワードの変更の決定 変更を反映させると Wi-Fi の再接続が必要になります。 5 パスワード表示 6 Wi-Fi チャンネル選択 通常は自動に設定してください。 7 Wi-Fi の最大接続の設定 (1-10) 8 他の機器から SSID が見えなくなります。 9 接続しているデバイスが表示されます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 接続時間表示 2 本機の再起動 (Reset) 3 SIM カードの APN 設定 APN 設定の項を参照願います。 4 4G が未接続になった場合、自動的に再起動するまでの時間設定 5 自動的に再起動する時間の設定。 デフォルトは OFF です。 6 ディスプレイ制御 点灯: LED 点灯 15 秒無操作消灯: 15 秒無操作がない場合 LED が消灯します。 7 電源 ON 時、自動的に 4G 接続する機能です。 8 データローミングを ON にすると自動的にローミングを開始します。 9 DNS 設定をする場合の設定機能です。 (通常は設定不要です。) 10 設定画面の IP アドレスです。 	<p>ログインするときのパスワードを設定します。 設定するとログイン画面に戻ります。</p> <p>パスワードを変更した場合、パスワードをメモしておくことをお勧めします。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 現在使用している Cloud SIM のデータ残量を表示します。 2 Cloud SIM を使用します。 3 お客様が用意して、SIM トレーに挿入された nanoSIM カードを使用します。(SIM カードが挿入されていない場合は通信できません。) 4 Cloud SIM と SIM トレーに挿入された nanoSIM カードを、状況に応じて自動的に切り替えて使用します。(この設定を選択した場合に nanoSIM カードの通信量にご注意願います。) 5 選択された設定を保存、適用します。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対処
電源が入らない (STATUS LED が点灯しない)	USB ケーブルが接続されていない	● USB コネクタに電源がきているか確認する。
無線 LAN の接続ができない	SSID、パスワードが間違っている	● 再度 SSID、パスワードが間違っていないか確認してください。 SSID、パスワードを変更後、忘れてしまった場合は、本体のリセットボタンを 7 秒以上長押しすると工場出荷時の設定に戻ります。
4G 接続ができない	4G の電波の受信状態が悪い	● 4G の電波の強い場所に移動してご使用ください。
	CloudSIM のデータ残量がない。	● Web 設定画面で残量が 0GB になったらリチャージしてください。 リチャージは https://md1-maya-portal.harmony-system.com から行ってください。(初回のみユーザー登録が必要です。その際本機の IMEI 番号が必要になりますので、本機の裏面のシールの IMEI 番号をメモしておくを便利です。)
	SIM カードが挿入されていない	● SIM カードを挿入してください。本機で使用できる SIM カードは nanoSIM カードです。
	使用できない SIM カードである。	● 本機はすべての SIM カードに対応してはおりません。IMEI 制限 (IMEI ロック) をされた SIM カードはご利用になれません。
ネットワーク接続できない	nanoSIM カードをご使用の場合に正しく APN 設定がされていない。	● 本機で自動認識できない SIM カードは手動での APN 設定が必要です。設定方法は APN 設定の項を参照してください。